

令和4年度 小野公民館事業報告

1 運営方針

(1) 基本方針

- ① 地域の方々が心身ともに健康で生き生きとした生活が送れるよう、体力の向上や維持、楽しみや生きがいがいづくりにつながる講座や講演会、講習会等を企画します。
- ② 公民館を拠点として活動する団体が目指す目標・目的を達成できるよう自立したグループとして体制づくりができるよう支援します。
- ③ 地域づくりを支援し、関係機関、団体等との連携を深め、地域連帯意識の醸成と郷土を愛する心の啓発に努めます。

(2) 重点施策

- ①公民館講座の工夫改善
- ②生涯スポーツの振興
- ③時代が変化している状況下で、地域として今必要な事業は何なのかを洗い出し、地域内諸団体と連携した地域主体の活動が活発化するよう支援します。

2 事業実績

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催 共催
高齢者	高齢者学級	健康体操	6月	9人	1回	主催
		English and 国際理解	7月	13人	1回	
		音楽療法	9月	10人	1回	
		季節の寄せ植え	11月	12人	1回	
成人	健康	スローエアロビックス・ストレッチ	4月～ 11月	48人	9回	主催
		リフレッシュヨガ	4月～ 12月	62人	9回	
成人	芸能	歌声喫茶	4月～ 2月	93人	8回	主催
成人	食育	発酵調味料作り教室	3月	9人	1回	主催
親子	青少年教室	月と夏の星座	7月	16人	1回	主催
		木星・土星・火星と秋の星座	11月	13人	1回	
		化石ミニ発掘体験	8月	9人	1回	
地域住民	情報提供事業	公民館報等配布	4月～ 3月	全戸	12回	主催

3 主な事業紹介

(1) 事業名：青少年教室 講座名 木星・土星・火星と秋の星座

①ねらい

公民館を利用する年齢層を拡大するため、小学生とその保護者を対象とした天体観望会を企画しました。

②事業内容

講師所有の本格的な天体望遠鏡を用いて、木星・土星・火星と秋の星座を観測しました。また、その他の天体についても講師の撮影した写真による解説がありました。

(2) 事業の評価・反省

受講した親子は、木星の縞模様や、土星の輪まではっきりと見えたため感動されていました。学校の授業では体験できないものを提供できたことは一つの成果といえます。

反省点としては、観測することを重視していたため、それに関連した知識の提供が不十分であったと考えています。受講者が天体を観測して身近に感じたところで、関連知識を示すことで、効果的に学びを深めることができると考えられます。

4 今年度のまとめ（総合的な評価・反省）

評価	評価理由、主な取組、工夫した点、課題等
3	前年度の反省を踏まえ、小学生とその保護者を対象とした主催教室を複数企画し、対象者の年齢層拡大に繋げることができた。今後は主催教室以外の観点からも公民館の機能拡張を検討し、公民館に関わりを持つ住民をより一層増やしていきたい。

◎評価の基準：+5=大変よくできた。24=よくできた。3=おおむねできた。

2=あまりできなかった。51=できなかった。